

高校生に対する林業の普及活動について

1 はじめに

岩手県立遠野高校では、総合探求の取組みを行っており、その中でも『遠野高校 X SDGs! 自分たちで創る「持続可能な」遠野』のゼミでは、「ふるさとを次世代に受け継ぐために、どのような働きかけができるか。」を令和2年度のテーマにしています。

そのゼミを進めるにあたって、身近な存在である農林業について、実態を認識するのが難しい状況であったことから、令和2年9月に当センター職員がゼミに所属する高校生に向け、遠野市の林業について講義を行ったので報告します。

2 講義の概要

遠野市は山々に囲まれているものの、遠野高校は普通科のみで、授業で林業に触れる機会は全くないことから、遠野市の林業について説明する前に、導入として本県で作成した、いわての森林・林業動画「岩手の森をずっとゲンキに」を視聴してもらいました。



その動画で、県内の森林の映像はもとより、林業、木材製造業に関する映像も流れ、林業の循環作業、CO₂サイクル、木材の“地産地消”について、理解を深めた後、当センター

で作成した資料をもとに遠野市の森林・林業の概要について説明を行いました。

遠野市の特徴として、木材関連産業を集積して団地を形成した「遠野地域木材総合供給モデル基地」がありますが、遠野市内で産出された木材の多くが市外に流れ、市内で十分に活用できていない現状を伝えました。

3 高校生達の反応

直ぐ近くに山林が広がる遠野市ですが、ゼミに参加している高校生達の殆どが、講義の最初に流した森林・林業の動画で、初めて林業や木材製造業の現場を見て、また、今回のゼミで初めて森林・林業について考えたという状況でした。

講義の後に高校生からは、森林を所有するメリットはあるのか?など様々な質問や感想が寄せられました。



4 おわりに

今回の講義では、周りに山林が広がる遠野市内の高校生であっても、森林、林業、木材製造業に接する機会はなく、そのため関心も薄かったことを実感させられました。

今後は、機会があるたびに、高校生をはじめ小中学生に対しても、普及活動を続けていきたいと考えています。